

じゅけんばんごう 受験番号	しめい 氏名
------------------	-----------

しずおかけんりつこうかたんきだいがっこう
静岡県立工科短期大学校

れいわ ねん どのにゆうがくせいにゆうがくしけん
令和8年度入学生入学試験

だい かい
(第2回)

すうがく
数学 I

ちゅういじこう
【注意事項】

- ・試験時間は60分間とする。
- ・机の上に置くことができる物は、受験票、筆記用具、消しゴム、時計、別途配布されているマークシートの記入方法及び解答上の注意に限る。
- ・問題は全部で5ページある。
- ・表紙の右上に受験番号及び氏名を記入するとともに、各ページの右上に受験番号を記入すること。
- ・試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
- ・試験開始の合図前に、解答用紙の該当欄に氏名と受験番号をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
- ・別途配布されているマークシートの記入方法及び解答上の注意を読んでから解答すること。

第1問 (配点 40点)

- (1) 次の式を計算せよ。ただし、解答欄 , , , は指数である。

$$(a^5b^4)^3$$

$$= a^{\text{1}\text{2}} b^{\text{3}\text{4}}$$

- (2) 次の式を計算せよ。ただし、解答欄 , , は指数である。

$$(3x^3)^3 \times 3xy^3$$

$$= \text{5}\text{6} x^{\text{7}\text{8}} y^{\text{9}}$$

- (3) 次の式を展開せよ。

$$(2x + 2y)^2$$

$$= \text{10} x^2 + \text{11} xy + \text{12} y^2$$

- (4) 次の式を展開せよ。

$$(3x - 3y)^3$$

$$= \text{13}\text{14} x^3 - \text{15}\text{16} x^2y + \text{17}\text{18} xy^2 - \text{19}\text{20} y^3$$

- (5) 次の式を因数分解せよ。

$$4x^2 + 11x + 6$$

$$= (\text{21} x + \text{22})(x + \text{23})$$

- (6) 次の式を因数分解せよ。

$$x^2 + 5xy + x - 10y - 6$$

$$= (x - \boxed{24})(x + \boxed{25}y + \boxed{26})$$

- (7) 次の式の分母を有理化せよ。

$$\frac{\sqrt{11}+1}{\sqrt{11}-1}$$

$$= \frac{\boxed{27} + \sqrt{\boxed{28}\boxed{29}}}{\boxed{30}}$$

- (8) 次の連立不等式を解け。

$$\begin{cases} 6x - 4 < 5 \\ 5x + 5 > x - 4 \end{cases}$$

$$-\frac{\boxed{31}}{\boxed{32}} < x < \frac{\boxed{33}}{\boxed{34}}$$

- (9) $U = \{x \mid x \text{ は実数}\}$ を全体集合とする。集合 A, B は U の部分集合

$$A = \{x \mid 1 \leq x \leq 4\}$$

$$B = \{x \mid 2 < x < 8\}$$

であるとする。このとき、次の集合を求めよ。

$$A \cap B = \{x \mid \boxed{35} < x \leq \boxed{36}\}$$

$$\bar{A} \cap \bar{B} = \{x \mid x < \boxed{37}, \boxed{38} \leq x\}$$

$$A \cup B = \{x \mid \boxed{39} \leq x < \boxed{40}\}$$

$$\bar{A} \cup \bar{B} = \{x \mid x \leq \boxed{41}, \boxed{42} < x\}$$

第2問 (配点 20点)

(1) 2次関数 $y = 4x^2 - 16x + 1$ について,

頂点の座標は (,) , 軸は $x =$ である.

(2) 次の ①, ② の条件を満たす2次関数をそれぞれ求めなさい.

① 頂点の座標が(4, 12) で, グラフが (-3, -37) を通る2次関数は

$$y = \text{} x^2 + \text{} x - \text{} \text{ である.}$$

② 軸が $x=3$ で, 2点 (1, 8), (3, -8) を通る2次関数は

$$y = \text{} x^2 - \text{} \text{} x + \text{} \text{} \text{ である.}$$

(3) 2次関数 $y = -x^2 - 2x + 5$ と直線 $y = 2x$ の共有点は2個あり, その座標は,

(,) , (,) である.

第3問 (配点 20点)

- (1) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、次の問いの ~ にあてはまるものとして適当なものを解答群から一つずつ選びマークせよ。また、同じものを繰り返し選んでもかまわない。

(a) $\sin \theta < \frac{1}{\sqrt{2}}$ を満たす θ の範囲は $\leq \theta <$, $< \theta \leq$

(b) $\tan \theta > -1$ を満たす θ の範囲は $\leq \theta <$, $< \theta \leq$

<解答群>

① 0°	① 15°	② 30°	③ 45°	④ 60°
⑤ 90°	⑥ 120°	⑦ 135°	⑧ 150°	⑨ 180°

- (2) $\triangle ABC$ において、 $c = 3$, $A = 30^\circ$, $B = 120^\circ$ のとき、

$C =$ $^\circ$

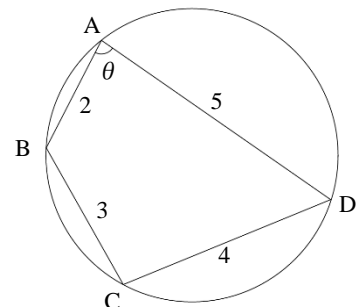
$b =$ $\sqrt{\text{$ } である。

- (3) 右図のように円に内接する四角形 ABCD において、

$\cos \theta = \frac{\text{$ }{\text{ } , $BD = \sqrt{\frac{\text{$ }{\text{ } である。

また、この四角形 ABCD の面積 S は、

$S =$ $\sqrt{\text{$ } である。



第4問 (配点 20点)

次のデータは、A高校、B高校それぞれのフットサル部の選手5人の身長(cm)である。

A高校：177 162 179 160 167
 B高校：170 167 168 167 178

(a) A高校の5人の身長の分散 S_A^2 を求めよ。

$$S_A^2 = \boxed{87} \boxed{88} \boxed{89}$$

(b) B高校の5人の身長の分散 S_B^2 を求めよ。

$$S_B^2 = \boxed{90} \boxed{91} \boxed{92}$$

(c) A高校の5人の身長の標準偏差 S_A を求めよ。

$$S_A = \sqrt{\frac{\boxed{93} \boxed{94} \boxed{95}}{\boxed{96}}}$$

(d) B高校の5人の身長の標準偏差 S_B を求めよ。

$$S_B = \sqrt{\frac{\boxed{97} \boxed{98}}{\boxed{99}}}$$

以上

じゅけんばんごう 受験番号	しめい 氏名
------------------	-----------

しずおかけんりつこうかたんきだいがっこう
静岡県立工科短期大学校

れいわ ねん どのにゆうがくせいにゆうがくしけん
令和8年度入学生入学試験

だい かい
(第3回)

すうがく
数学 I

ちゅういじこう
【注意事項】

- ・試験時間は60分間とする。
- ・机の上に置くことができる物は、受験票、筆記用具、消しゴム、時計、別途配布されているマークシートの記入方法及び解答上の注意に限る。
- ・問題は全部で5ページある。
- ・表紙の右上に受験番号及び氏名を記入するとともに、各ページの右上に受験番号を記入すること。
- ・試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
- ・試験開始の合図前に、解答用紙の該当欄に氏名と受験番号をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
- ・別途配布されているマークシートの記入方法及び解答上の注意を読んでから解答すること。

第1問 (配点 40点)

- (1) 次の式を計算せよ。ただし、解答欄 , , , は指数である。

$$(a^4b^2)^5$$

$$= a^{\text{1}}^{\text{2}} b^{\text{3}}^{\text{4}}$$

- (2) 次の式を計算せよ。ただし、解答欄 , は指数である。

$$(2x^3)^2 \times 3xy^2$$

$$= \text{5} \text{6} x^{\text{7}} y^{\text{8}}$$

- (3) 次の式を展開せよ。

$$(3x + 2y)^2$$

$$= \text{9} x^2 + \text{10} \text{11} xy + \text{12} y^2$$

- (4) 次の式を展開せよ。

$$(3x - 2y)^3$$

$$= \text{13} \text{14} x^3 - \text{15} \text{16} x^2y + \text{17} \text{18} xy^2 - \text{19} y^3$$

- (5) 次の式を因数分解せよ。

$$6x^2 + 13x + 6$$

$$= (\text{20} x + \text{21})(2x + \text{22})$$

- (6) 次の式を因数分解せよ。

$$x^2 - 2xy + 6x - 6y + 9$$

$$= (x + \boxed{23})(x - \boxed{24}y + \boxed{25})$$

- (7) 次の式の分母を有理化せよ。

$$\frac{\sqrt{13}+1}{\sqrt{13}-1}$$

$$= \frac{\boxed{26} + \sqrt{\boxed{27}\boxed{28}}}{\boxed{29}}$$

- (8) 次の連立不等式を解け。

$$\begin{cases} 4x - 5 < 7 \\ 5x + 5 > x - 1 \end{cases}$$

$$-\frac{\boxed{30}}{\boxed{31}} < x < \boxed{32}$$

- (9) $U = \{x \mid x \text{ は実数}\}$ を全体集合とする。集合 A, B は U の部分集合

$$A = \{x \mid 4 \leq x \leq 7\}$$

$$B = \{x \mid 5 < x < 8\}$$

であるとする。このとき、次の集合を求めよ。

$$A \cap B = \{x \mid \boxed{33} < x \leq \boxed{34}\}$$

$$\bar{A} \cap \bar{B} = \{x \mid x < \boxed{35}, \boxed{36} \leq x\}$$

$$A \cup B = \{x \mid \boxed{37} \leq x < \boxed{38}\}$$

$$\bar{A} \cup \bar{B} = \{x \mid x \leq \boxed{39}, \boxed{40} < x\}$$

第2問 (配点 20点)

(1) 2次関数 $y = 2x^2 + 12x + 13$ について,

頂点の座標は $(\boxed{41} \boxed{42}, \boxed{43} \boxed{44})$, 軸は $x = \boxed{45} \boxed{46}$ である.

(2) 次の ①, ② の条件を満たす2次関数をそれぞれ求めなさい.

① 頂点の座標が $(4, -1)$ で, グラフが $(5, 1)$ を通る2次関数は

$$y = \boxed{47} x^2 - \boxed{48} \boxed{49} x + \boxed{50} \boxed{51} \text{ である.}$$

② 軸が $x = -2$ で, 2点 $(-3, 2)$, $(0, -1)$ を通る2次関数は

$$y = \boxed{52} x^2 - \boxed{53} x - \boxed{54} \text{ である.}$$

(3) 放物線 $y = x^2 - 3x + k$ と直線 $y = -x - 2$ の共有点が1個のとき, 定数 k の

値は $\boxed{55} \boxed{56}$ である. また, そのときの接点の座標は $(\boxed{57}, \boxed{58} \boxed{59})$ で

ある.

第3問 (配点 20点)

- (1) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、次の問いの ~ にあてはまるものとして適当なものを解答群から一つずつ選びマークせよ。また、同じものを繰り返し選んでもかまわない。

(a) $\sin\theta > \frac{1}{\sqrt{2}}$ を満たす θ の範囲は $< \theta <$

(b) $\cos\theta > \frac{1}{\sqrt{2}}$ を満たす θ の範囲は $\leq \theta <$

<解答群>

① 0°	① 15°	② 30°	③ 45°	④ 60°
⑤ 90°	⑥ 120°	⑦ 135°	⑧ 150°	⑨ 180°

- (2) 円に内接する $\triangle ABC$ において、 $a = \sqrt{2}$, $b = \sqrt{3}$, $B = 60^\circ$ のとき、

$A =$ $^\circ$

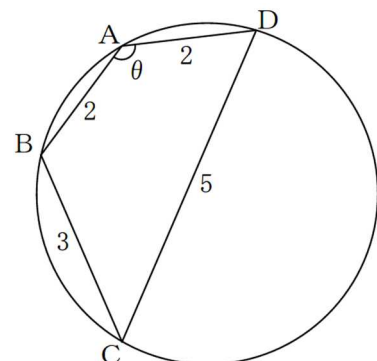
$C =$ $^\circ$ である。

- (3) 右図のように円に内接する四角形 $ABCD$ において、

$\cos\theta = -\frac{\text{68} \text{ 69}}{\text{70} \text{ 71}}$, $BD = \frac{\text{72} \text{ 73}}{\text{76} \text{ 77}} \sqrt{\text{74} \text{ 75}}$ である。

また、この四角形 $ABCD$ の面積 S は、

$S =$ $\sqrt{\text{79}}$ である。



第4問 (配点 20点)

次のデータは、A高校、B高校それぞれのバレーボール部の選手6人の身長(cm)である。

A高校	: 159	172	151	177	164	167
B高校	: 160	167	168	173	171	169

(a) A高校の6人の身長の分散 S_A^2 を求めよ。ただし、小数第2位を四捨五入すること。

$$S_A^2 = \boxed{80} \boxed{81} . \boxed{82}$$

(b) B高校の6人の身長の分散 S_B^2 を求めよ。ただし、小数第2位を四捨五入すること。

$$S_B^2 = \boxed{83} \boxed{84} . \boxed{85}$$

(c) A高校の6人の身長の標準偏差 S_A を求めよ。

$$S_A = \sqrt{\frac{\boxed{86} \boxed{87} \boxed{88}}{\boxed{89}}}$$

(d) B高校の6人の身長の標準偏差 S_B を求めよ。

$$S_B = \frac{\boxed{90} \sqrt{\boxed{91}}}{\boxed{92}}$$

以上